

平成 26 年度 第 4 回 湖南省立図書館 図書館協議会

- 開催日時 平成 27 年 3 月 8 日(日) 午前 10 時 5 分~12 時
- 開催場所 湖南省立甲西図書館 2 階 集会室
- 出席者 図書館協議会委員 9 人 欠席者 1 人  
図書館事務局 3 人
- 傍聴人 0 人
- 議事
  - 1.平成 26 年度図書館事業等について
  - 2.図書館評価について
  - 3.図書館協議会交流会の報告
  - 4.平成 27 年度 図書館の休館日について
  - 5.図書館関連新聞記事について
  - 6.意見交換、その他

【傍聴人の確認】

【資料確認】

会 長	おはようございます。お忙しい中ありがとうございます。このメンバーでの図書館協議会として、2 年間ありがとうございます。活発な意見を出していただいたことに感謝申し上げます。今回が最後になりますが、できるだけ皆さん発言いただきますようよろしくお願いします。時間も迫っていますので、早速はじめていきたいと思います。では第 1 議案の図書館事業について、事務局の方からよろしくお願いします。
-----	---

【平成 26 年度図書館事業等について説明】

会 長	それでは次に図書館評価について、事前に資料を送っていただいておりますので、これに添って事務局の方から今後の予定も含めてお願いします。
-----	--

【図書館評価について説明】

会 長	今説明がありましたが、確認しますと 27 年度に入ってから図書館側がまず自己評価を行い、それに対して図書館協議会の方で外部評価を来年度行う。ただ、それは試行という形で、本格的に行うのはさらに 1 年後として、何らかの形で公開していくということが前提になります。皆さんの方から個別のご意見、ご質問等がありましたら、お願いいたします。
委 員	事前に郵送していただきましてありがとうございます。他市の図書館の事例も参考にして大変見やすい表になったと思います。細かい点ですが、私の意見を言わせていただきます。1 ページ目の利用促進とサービスの充実と大きな内容として二つ

	に分かれています、その横の評価指標の7・8・9までですが、ここに2ページ目のサービス内容の行政資料と郷土資料の収集、保存の強化とあるので、それを利用促進の9の次に入れたらどうかと思います。
副館長	項目を増やすということですか。
委員	そうです。他市の例でも行政資料、郷土資料が上がっています。年配になってくると郷土資料に興味湧いてきますので、これを入れたらよいのではないかと思います。二つ目が3ページ目になるのですけれども、利用に応じたサービスというところで、評価指標の①②とか、このところは⑩から⑮になるのですが、サービスの内容のところと同じように①②なので、数字をABCとかアイウとかに替えたほうが見やすいと思います。
副館長	見やすいように替えます。
委員	それと、4ページ目の市役所各部署との連携ということで、これは塗りつぶしていますが、評価基準はあくまでも数値化することが目標なので、市役所との連携というのは手段とか内容になってしまうので、これを削除して、④の集会行事等の推進のところに取り組みの内容として市役所各部署との連携等と加えて、なるべく数値化できるものであれば、講演会とか展示会とか人形劇とかコンサートとかの件数を加えれば数値化の方に向かっていくのではと思います。まとめるのが大変であればこのままでも良いのですが、なるべく他部門との連携を数値化していけばどうかと思います。それから、その上の高齢者、障がい者、多文化サービスというのがありますが、これも実施件数で表すことができるのではないかと思います。黒塗になっていますが音訳版の作成、朗読ボランティア講座、国際文化教室、人権ミニ映画会、親子プレステーションなど、なるべくならば実施件数で表せるものは表していった方が良いのではないかと思います。
副館長	ご意見ありがとうございます。まず3ページのサービス内容の①②③がサービス指標のものと混乱するので替えたと思います。数値目標を取っていないところについて、いくつかご指摘いただいたのですが、その理由を申し上げますと、郷土資料につきましては、冊数としてカウントするのは可能ですが、原則として除籍をしないので、必ず増えていきます。数値を含めて文章化して評価ができればと考えました。例えば、市役所との連携で資料を集めることについて、まずはそういったシステムを確立するという可能性もあります。昨年、一昨年は実際住んでいる方にインタビューをして、その口述を資料として作成するというのもしておりますが、そちらも数値目標として定めるのが難しいところがありますので、取り組みについて評価をしていただけたらと考えております。それから4ページ目の市役所との連携のところサービス内容6番を3ページの集会行事の推進に含めてはどうかというご意見をいただきましたが、市役所との連携を残した理由としまして、事業方針

	<p>の項目立てとして市役所各部署との連携があることです。集会行事としてはこの場所で開催文化教室を行ってもらうとか展示コーナーを人権擁護課に使っていただくとか、映画会で人権教育課に使っていただくこともしているのですが、私たちが外に出向いて行う連携もあります。それが保健センターでのブックスタートに協力するとか、学校へ出向いてのブックトークなどです。そういうこともしているということで、分けさせていただいたという経緯があります。ご意見のとおりそれを含めるという方法もあります。</p>
館長	<p>集会行事の中に入れてしまうと集会行事ではない連携といったことはどうしていくのかということもあります。学校教育課や議会との兼務の職員もおりますし、そういうところでの連携ということもありますが、集会行事ではありませんのでその辺の取り扱いということもあります。</p>
委員	<p>集会行事というのは図書館で不特定多数の来館者に対して行う行事ですが、今言われたように、図書館から学校へ出向いて図書館の仕組みを教えたり、読書についていろいろ教えたり、あるいは保健センターでの事業であったりそういうことを分けて6番にあげているということで、集会行事と対象がちょっと違うと思います。</p>
副館長	<p>集会行事とかぶるところはこちらに移したらどうかというご意見だと思います。</p>
委員	<p>今のことで具体的に教えてほしいのですが、何年も司書が子どもにおはなし会をしてもらっていて、その後私が保護者を対象に話をしているという事業がありますが、あれはどこに入るのですか。</p>
副館長	<p>基本的には市役所との連携になります。</p>
館長	<p>集会行事ではないです。</p>
委員	<p>だからこれは残しておくべきだともいます。</p>
委員	<p>図書館と役所との連携があってできる事業ということです。そういう意味では大事な項目ではあります。</p>
会長	<p>目標値というのが定めなければならないものと、増加であればここまで達成しなければならぬというものでもなく、逆に予算が決まっていればがんばろうにも予算的に無理であるというものもありますので、無理に目標値を定める必要の無いものは書く必要はないと思います。それと、今黒塗り箇所で言葉で表すなかでも目標値はないけれども実績として件数の推移だけは書いた方が良いでしょう。</p>
副館長	<p>全て数値化する方向での、案もあげたのですが、評価指標の件数が非常にたくさんになってしまいましたので、数をしぼろうとした経緯もあります。たとえば高齢者サービスでは大活字本を増やしていることでは数値目標は可能ですし、障がい者サービスにつきましては認識していただくことで、必要のある方にサービスが行き届くことが大事だと思います。利用者数として数値化できますが、そうではなく</p>

	<p>て、違った視点で評価するということが良いのではないかと思います。多文化サービスにつきましても、外国語資料の受け入れを増やしておりますので、毎年増えていくところではあるのですが、使われ方も含めて評価していただいた方が良いのではないかとということで、あえて数値を定めておりません。先ほど会長も言われましたが、全く数値を入れない状態で評価をしていただくということはありませんので、何冊とかどのような本であるとか、またPRの方法などで評価していただきたいと思っております。たとえば26年度分の評価を行って、これは数値の方がわかりやすいということであれば変更していただくということでどうでしょうか。</p>
委員	<p>試行期間ということもありますので、検討を行ってやっていったらよいと思います。</p>
副館長	<p>数値化ということに関しましては、統計が取れるか、とりかたが複雑になるものはシステムを変える必要もありますので、そのあたりで実現可能なものは、やっていきたいと思っています。</p>
会長	<p>外部評価欄、全体評価および図書館協議会の意見を見てもらったら、外部評価は書けるという認識でよろしいですか。自分が評価する時にこの項目であったら全体評価ができるということで、全体評価はABC評価で図書館協議会から個別の意見を出すという形式で、よろしくをお願いします。それでほぼ意見が出たと思いますので、この取り組みに関しては図書館協議会のワーキンググループで事前に意見の集約を行い、事務局の最後の提案に関して図書館協議会として次年度はこれで行うという結論を残したいと思っています。よろしいでしょうか。</p> <p>意見がないようですので、そのようにさせていただきます。</p> <p>それでは次に図書館協議会交流会の報告について、これは第3回目の時に県立図書館で開催されました滋賀県下の図書館協議会の全体集会が行われまして、5名の委員に参加いただきました。回数も重ねてきたもので、今回も班に分かれて図書館職員、図書館協議会委員、図書館で活動している人など幅広く参加されていまして。何名でしたか。</p>
副館長	<p>70名くらいであったと思います。</p>
会長	<p>5名の参加者もグループ討論と発表に関わることもしました。私は行政改革の話をさせていただきました。他の図書館の話も出ていました。参加されました委員の皆さん付け加えるような話があれば、自分の班の報告あるいは参加されたご感想があればどうぞ。</p> <p>前回図書館協議会がなかった市も今回は図書館協議会として参加されましたが、まだ図書館協議会がないところもあります。どういう訳か人口の多い昔から図書館があったところに図書館協議会がないようです。何かありませんか。</p>
委員	<p>初めて来たという人が多くて、外部に委託するというような話が出ていても何の</p>

	話か分からないような感じでした。
委員	温度差というのが適当な言葉だと思います。ばらつきがあって、我々にしてみれば毎年の繰り返しのような感じで、委員の経験の浅い方は新鮮な意見もあったでしょうが、あのまま続けていってどれだけ意味があるのかという疑問の方が多いです。整理していかないとあまり意味がない。各図書館の悩みとか、進捗度とか、現実把握できますけれども、それ以上はどうかというところで、やり方を考えないといけない、そういう時期に来ているのではないかと思います。
副館長	事務局に伝えます。
委員	同じ意見です。私は昨年初めて行かせていただきましたが、集まる目的というか、県立図書館に集まって、話し合った先がどこへ行きつくのか先が見えないので、単純な親睦で終わってしまっているような印象でした。それと図書館協議会がないところは、図書館協議会がいないぐらいうまく動いているということはないのですか。歴史が古いのでよくわかりませんが、とてもよく機能しているのではないのですか。
会長	図書館の条例で定めていますが、条例に定めていないところもあるということです。うまくいっているから協議会がないからということではありません。
委員	先ほど言われましたが、私も同じことは思っています。出る度に報告者になるので、ゆっくり聞いていられないので、順番制にしてもらえないかと思っています。
委員	報告も毎年同じようなことを言っているように思います。
副館長	当初はそれぞれの図書館協議会の方が集まる機会がなくて、どのようなことをしているのか知りたいということもあって、スタートしていると思います。今回報告があったのは大津、甲賀、愛荘、多賀、県立だったのですが、大津は「図書館の現状と今後の在り方」というのを26年度に報告したということでした。甲賀市はサービスの向上の提言という形で、年3回の図書館協議会以外に小委員会をつくって活動しているという報告でした。旧水口の図書館で「図書館をほんわか語る会」というのを、図書館協議会の主催でやっています。また、今年度はじまった図書館祭りで図書館協議会でも企画して活動していますという報告でした。愛荘は、貸し出し冊数を増やすためにはどうしたらよいかということを図書館協議会で話しているということでした。それから、図書館協議会のメンバーは何年かで変わっていくので、メンバーの方からボランティアを立ち上げて、図書館の職員の仕事とは少し違うところで、図書館を支えるボランティアをやっていますという報告がありました。多賀の図書館は、「これからの多賀の図書館」ということで、答申の依頼があって、3月に答申を出してネットで公開していますので、良かったら見てくださいということでした。県立図書館は今年度から図書館協議会が立ち上がりまして、活動

	の報告がありました。どのようなことをやっているかということは参加して初めて分かるということもあります。その部分についてはあってもよいのではないと思いますが、その他の運営については事務局にも話をさせていただきます。
会 長	もう少し事務局のリーダーシップを考えないと、良かった時の滋賀県の図書館がいつの間にか後進県になっているということもありますので、リーダーシップをとっていただきたい。少なくとも終わってから報告書を出していただきたい。それから、滋賀県下の図書館、日本の図書館の現状を時間は短くてもよいので、聞いてよかったですと思える講演会を最初を含めていただきたいので、事務局の方へぜひお願いします。
副館長	お伝えします。
委 員	専門家を招いて、当時の甲賀郡内の館長と図書館協議会の委員が集まってそういうこともやっていただきました。そういうものを県全体としてはまた難しい面もあるでしょうし、地区ごとに県の図書館の活動として取り組んでいただけないかという提案をしていただきたいと思います。
副館長	お伝えします。
会 長	これまで、図書館協議会の公募制について、お話があって取り入れたということもありました。
委 員	それについての感想も各委員から出していただいたということもありました。 甲西の図書館は建物を作る前から準備室として2年間でしたか、じっくりと準備のために法律的なこと、運営に関しての条例を作るときに協議会を設置することも明文化されて、建物を作る前に専門家が町長の理解を得ながら進めてきて、そのうえで建物も作ってきたということで、手順を踏んで設置された図書館だと思います。
委 員	県立図書館の意見発表ですが、図書館の現状報告はよいと思いますが、発表する人が現状報告をしたうえで、自分たちのビジョンを発表するとよいと思います。
委 員	班の発表なら、この図書館は将来このようにしたいということでしたという報告をされたら良いと思います。
副館長	いただきましたご意見は事務局の方に伝えさせていただきます。
会 長	4番目の図書館の休館日について事務局の方からお願いします。

【平成 27 年度図書館の休館日について説明】

会 長	国民の祝日が開館するのは0ですか。
副館長	基本的にはカレンダーを見ていただきますと、27年度は石部図書館では5月4日、5日を開館します。甲西の図書館では4月29日、5月3日、9月23日、12月23日、3月20日につきましては祝日ですが開館します。県立図書館もそうです

	が、祝日は開館するけれども、その翌日は閉館するというのが非常に多いです。今回祝日で水曜日を開館した場合で木曜日が月末休館日となる場合、職員は閉館でも作業をしているのですけれども、本庁の職員との休日の調整ということで、閉館して職員も休むという日を設けますが、利用者には月末木曜日の休館ということでは変わらないということになります。
会 長	これに関して、皆さんから何かありますか。何もないようでしたら次の議題に移ります。

【図書館関連新聞記事について説明】

会 長	自動貸し出し機について、京都市の図書館をよく利用するのですが、よく雑誌の付録でトラブルになっています。返却の時に付録がありませんとかよく言われています。貸し出しの時に入っていたのかということもありますし、また本の汚れについても貸し出しの時から汚れていたのか、返却された人が汚したのか、それからCDのこともありますし、そうしたもろもろのことを考えたときに本当に貸し出し機の導入が良いのかという疑問があります。
委 員	情報の提供ですが、この間の県立の交流会の時に、守山図書館の協議会の方がおられました。それで報告しておられたのですが、改築の計画を作るにあたって図書館協議会もいろいろ協力して話をしましたということ言われていました。それで気になるのですが、この図書館の借地の件ですが、図書館協議会としてお手伝いできるようなことがあるのですか。
館 長	今のところ報告させていただくような進展はありません。
委 員	自動貸し出し機についても協議したということですか。
委 員	そうではなくて、全面改築にあたって協議したということですか。ですので、そういう時に役に立てるのかと思いました。
会 長	新聞記事等に関して他にないようでしたら最後に意見交換事務局の方からお願いします。

【平成 26 年度図書館協議会第 2 回及び第 3 回の会議録の確認について説明】

会 長	自主研修の報告について、参加された方にその時のおはなしをお願いします。
委 員	新聞記事の 5 ページに載っています。ご覧いただいたらわかるのですが、図書館協議会の委員をしてから 2 年目ということで、内容がわかりかけてきたところですが、民間委託についてどのようにお話されるのか聞いていました。この方は長く図書館に関わってこられた方なので大変重みのある方ですが、東京の日野市の図書館、滋賀県立図書館に関わって、当時の知事武村さん、稲葉さん、国松さんともに大変理解があったようです。そういう意味で仕事がしやすかったということでこのお三方に感謝を言われていました。この方はイギリスに 2 年間留学をしていて、その間

	<p>に図書館経営の信念を学んだということで、民間委託はもつての他であるという意見でした。身分が不安定とか、責任があいまいとか。どうしても利益の追求になるので、非正規の社員が増えます。カウンターにも非正規社員を置くことになって、レベルの低下に繋がり、住民サービスの低下になってしまいますというようなことをおっしゃっていました。この方の信念というものは別にしても、最近の図書館関係の学者や国会図書館の運営について、最近の図書館にも不満を持っておられるようでした。個人的には滋賀県下に民間委託しているところはありませんが、大津の図書館が民間委託を考えているということで、県庁所在地が民間委託になればほかの自治体も影響を受けるということで、できるだけ避けなければという感じを持ちました。湖南省の図書館でも外部評価がありました。これが今後どのようなようになるのかが重要であると思います。そのような感じを持ちました。</p>
委員	<p>今おっしゃっていただいた通りです。学者タイプの方ですし、また県立図書館の館長もなされて、実務型の方でもあります。子どもに読書を勧めるにあたっては、子どもに「読みなさい」と言ってはダメです。というようなお話もありました。それから、逆にこんな本を読んではいけないということも言わない方が良いでしょう。また、読書感想文を強いてはいけない。これは、読書と子どもというお話の中で本が好きな子どもほど読解力があるということで、これはよく言われることです。それからよく御用学者という言葉が出てきて、図書館関係に多いという痛烈な批判をされていました。また、日図協に対しても批判をされていました。具体的なことを言われませんでした。図書館の問題を考えるうえで、日図協の見解は指針になるべきであるのに、そうとは捉えておられないようで、今の図書館会の問題を感じました。日図協は図書館に関しての専門的な知的集団ではあります。図書館の自由に関する宣言も制作されて、図書館もそれを踏まえた活動をしている訳です。</p>
委員	<p>子ども読書に関して、感想文を書きなさいと言っはいけないということですが、本を与えて、この本の感想文を書きなさいということと言っはいけないですよというように私は捉えました。好きな本を読んで感想文を書きなさいということはよいのではないかと思います。</p>
委員	<p>感想文を強制するのは与えられた本でも、好きな本でもあまりよくないように私は思います。子どもの感想はそれぞれちがうので、それを評価するというのはしてはいけないと思います。このように感じるんだと思うことはよいと思いますが、それを学校とかで評価の対象にするというのは違うと思います。</p>
委員	<p>書くということ自体はよいことだと思いますし、大切なことだと思います。絶対に書かなければならないという強制が問題になるのだと思います。</p>
会長	<p>議事としてはこれで終了ですが、他に何かありましたらどうぞ。</p>
副館長	<p>前回の協議会での委員から質問がありましたので説明します。県立図書館の休館</p>



	<p>日についてということです。それを平成20年4月に月曜日、火曜日に変更されたことについての質問だったと思います。県立図書館も、「滋賀県財政構造改革プログラム」のなかで、予算の削減を求められたということがありまして、その中で何を削るかということで、本の費用を削ると市町の図書館にも影響が出るし、県民にも影響が出るということで、光熱水費等の維持管理経費を減らすという選択をされています。ただ、県立図書館と市町立図書館とは立場が違いますので、そのまま同じようにすれば市民からはサービスの低下であるということになりますが、県立図書館の役割は、市町立図書館のバックアップを行うことであることから、こうした決断をされたとのことです。</p>
会 長	<p>県立図書館の場合は市町の図書館のバックアップという重要な使命もあります。</p>
館 長	<p>バックアップをするために資料費を確保したいという考え方だと思います。</p>
委 員	<p>そういう意味では県立図書館の本質を確保されたのだと思います。予算削減があっても資料充実に影響を与えない大切さが確保されたのだと思います。</p>
委 員	<p>別件ですが、本日のビブリオバトルの件について、どのようにするかということで、この意義が終わった後役割分担等の協議をしたいということと、もう一つは来年度からどのように運営していくかということです。今年度については私がやりますが、この後のことをどのようにしていくのかということです。これについて皆さんのご意見をお願いします。</p>
会 長	<p>今日参加いただける方は挙手をお願いします。</p>
委 員	<p>参加いただける方で、傍聴の方について、司会進行は私がやりますが、その他に役割がありますので、この後その協議をよろしくお願いします。</p>
会 長	<p>もう一つのほうはどうですか。</p>
委 員	<p>今年は3回目になります。来年度誰が図書館協議会の委員になるかはわかりませんが、図書館協議会から離れられる方もあると思います。もし離れられることになってもビブリオバトルの実行委員会には残っていただいて、やってほしいと思っています。</p>
副館長	<p>今は図書館協議会内に実行委員会を作っているという形になっていますが、委員も替わられるということになりますので、今後どのようにしていくかということになります。</p>
委 員	<p>図書館協議会から離れてビブリオバトル実行委員会として運営していくということです。</p>
副館長	<p>今もビブリオバトル実行委員会は図書館協議会から独立した委員会ですが、たまたま委員が図書館協議会委員であるということです。ただ次年度からは図書館協議会委員以外の方もビブリオバトル実行委員会に入って運営に協力していただけると</p>

	ありがたいということですね。
委員	そういうことで、この後決められたらいかがですか。
会長	それではそのようにさせていただきます。 それでは図書館協議会としてはこれで終了させていただきます。2年間ありがとうございました。